




# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立大原小学校 】

1 実践テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> I · <input type="checkbox"/> II · <input checked="" type="checkbox"/> III · <input type="checkbox"/> IV · <input type="checkbox"/> V（複数選択可） パラスポーツを知ろう・体験してみよう！
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年 40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 <input checked="" type="checkbox"/> ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パラスポーツについて調べたり、アレアスの方の話を聞いたりパラスポーツ体験をしたりして、様々なパラスポーツ種目に関心を持ち、進んでスポーツや目標に向かって取り組む姿勢を育むことができるようにする。</li> <li>・ パラスポーツの体験を通して、誰もが楽しめるためにルール等の工夫があることを知り、障がいをもった方たちと共生する社会について考える。</li> </ul>
5 取組内容	第1次 パラリンピックについて知ろう ○ 「I'm POSSIBLE」を活用して、パラリンピックについて知る。 ○ パラスポーツ体験で体験する「ボッチャ」・「卓球バレー」・「車いすバスケットボール」について調べる。 第2次 パラスポーツを体験してみよう ○ 「ボッチャ」・「卓球バレー」・「車いすバスケットボール」を体験したり、アレアス職員の方の話を聞いたりする。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボッチャ体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卓球バレー体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>車いすバスケット体験</p> </div> </div>

	<p>第3次 パラスポーツについてさらに詳しく調べたり、これから自分はどうしていきたいか考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が調べたいパラスポーツについて、調べて発表する。</li> <li>○ 調べたことや友達の発表を聞いて、これから自分はどうしていきたいか、考えをまとめる。</li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<p>パラスポーツ体験後や学習後の感想（一部抜粋）や、事前・事後アンケートの数値の変化から、本プログラムの成果を分析していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 車いすバスケットは、こぐのが大変なのに、障害のある人は乗りこなせるから、やっぱり障害がある人はいっぱい練習して努力していてすごいと思いました。だから、ぼくは障害がなくて動けるんだから、いろんなことに挑戦したり、いやなことも頑張ろうと思ったりしました。</li> <li>○ ……また、オリパラ体験をして、オリンピックとパラリンピックに少し興味をもちました。</li> <li>○ ……私はオリパラ体験をしてよかったと思いました。なぜなら、障害があってもなくてもだれでもパラスポーツに参加することができると思うことができたからです。</li> <li>○ ポッチャは、ジャックボールに相手より近づいていたら一点で、ジャックボールに近づけるのがむずかしかったです。ぼくは、いろんな障害がある人も楽しくできるように、たくさん工夫があるんだなと思いました。他にもいろいろなパラスポーツ競技をしてみたいです。</li> </ul> </div> <p>学習後の児童の感想の中には、「パラスポーツに対して興味・関心が高まったこと」、「パラスポーツは障害の有無に関わらずだれでも参加できること」、「あきらめずに努力することの大切さ」等についての記述が見られた。</p> <p>また、事前・事後のアンケート結果を比較すると、特に「パラリンピックへの興味・関心」、「社会や人のために役に立つことをしたい」、「お年寄りや障害のある方と交流してみたい」の数値が上昇した。</p> <p>以上のことから、上記に挙げた目標が達成することができたと考える。</p>
<p>7 実践において工夫した点 （事業の特色）</p>	<p>本校では4年生が、総合的な学習の時間で福祉の学習を行っている。例年、「心のバリアフリー事業」として、近隣の特別支援学校と年間を通して交流を行っているが、ここ2年間新型コロナウイルス感染症予防のため、実施できていなかったため、パラスポーツ体験の講座を申し込むようにした。これにより、パラスポーツに興味・関心をもたせたり、障害のある人への正しい理解が深まったりすることができたと考える。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>2年間パラスポーツ体験に取り組んだので、実践の成果と課題が明確になった。引き継ぎを確実にいき、次年度につなげていきたい。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>上記の目標を概ね達成することができたので、次年度は、「運動やスポーツをすること、見ることに興味がある」の数値向上を目指していきたい。そのため、本校の伝統である「朝の5分間走」を今までと形を変えて実施したり、「縄跳び集会」を実施したりして、本校らしい取組を推進していく。</p>